



島教協

《すべては「子どもたちのために」》 情 報

http://
www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 石原康博 編集人 吉田 修 No.622

島教協

第一回執行委員会開催

四月二十五日(日)、ビッグハート出雲にて今年度第一回の島教協執行委員会が開催された。二十一年度の活動報告と二十二年度の活動計画について審議され、承認を得た。

委員からは「政治不安の中で我々の立場を守るようなところをもっと強く出してもいいのではないだろうか。」「今の政権では日教組が進めていたようなことが政策として掲げられる向きがあるなどの現状をしっかりと踏まえた活動をしていくことが必要。」「今やっていることで今後も残していくことと変革していくことはつきりさせ、子どもたちのためになるような活動を推進して」との意見が出された。



この執行委員会で検討したことは、五月二十九日開催の、第50回島教協定期総会に議案として提出し、審議・決議いただく予定となっている。

夢に向かって

第一回講師研修会開催

四月二十五日(日)、島根県教育文化研究所は、第一回講師研修会を開催した。研修会では、2名の今年度新規採用者から、勉強の仕方などについて、実物のノートや参考書、資料を提示しながらの具体的な話をしていた。

また、所長からの講話は、「島根の教員に求められるもの」についてや、試験に向けてのモチベーションを高め、維持するための具体的な方策についての、演習も交えながらのものであった。

中身の濃い話に、参加者のメモをとるべしは止まることがなかった。

参加者は、休憩時間にも新規採用者に積極的に質問して情報を得るなどし、充実した有意義な研修会となった。



【参加者の感想】

- ・自分がなぜ教員になりたいのか、どんな教員になりたいのか、改めて考えてみたいと思います。
- ・実際に合格された先輩からの話は参考になることが多く実施可能な内容でした。
- ・教員を目指して頑張られている方、教員として熱い思いを持って子どもたちと関わっておられる方の中に参加できたことですごく刺激を受けることができました。

第二回講師研修会

五月三十日(日)

詳細は別紙



全日教連 要望活動 結果報告

四月二十三日（金）、全日教連は第一次中央要請行動として、文部科学省に対して文教予算等に関する要望を行った。

《要望項目》

- 1 教育の機会均等と教育水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担金を当面2分の1に戻し、さらに教材費・図書費・施設設備費等、義務教育に係る各費用を国庫負担金に組み入れ、教育における地域間の格差が生じないようにすること。
- 2 人材確保法の趣旨を尊重し、教育専門職にふさわしい給与・勤務条件となるよう改善を図ること。
- 3 学校マネジメント機能を強化するため、副校長・主幹教諭・指導教諭等の新しい職の配置促進を図るとともに、教職員給与を5級制にすること。
- 4 全国学力・学習状況調査を全ての児童・生徒の学力・学習状況の課題の解決に生かせるよう、悉皆調査に戻すこと。

《意見及び回答》（一部を掲載）

○教材整備について（全日教連）

教材整備緊急3カ年計画は、平成23年度までの予定だが、その予定通り、引き続き実施されるのか。

（文科省）

教材整備費の3カ年計画は、平成21年度から23年度までの3カ年となっている。24年度以降の教材整備費については、3カ年計画の実施状況を踏まえて検討していきたいと考えている。

また、「教育一括交付金」を整備していく中で、教材整備費が入ってくれば、そちらに組み込むことも考えられる。

（全日教連）

「教育一括交付金」は、用途が制限されていると考えてよいか。

悉皆（しっかい）調査

抽出ではなく、一人残らず全員を対象とした調査のこと

（文科省）

細かい用途まで定めるのではなく、総額を確保して、その中で自由に使えるようにしたい。教育だけに特化した一括交付金にした

○教職員の定数について

（全日教連）

新しい職に関して、配置の促進を図っていききたいとの考えだったが、昨年度の最終的な予算のときには、「主幹教諭のマネジメント機能の強化」の項目は削除された。来年度の概算要求のときには、新しい職の配置の推進を含めた予算措置を考えていると捉えてよいか。

（文科省）

「主幹教諭による学校マネジメント機能の強化」に特化した定数を配置するのではなく、新学習指導要領への対応の中で、まず、教員数を増やせば、結果的に主幹教諭の職務負担の軽減に繋がるだろうと考えた。今回、「主幹教諭のマネジメント機能の強化」に特化した項目にはなっていないが、定数を増やすことができたので、「主幹教諭による学校マネジメント機能の強化」にも使ってもらえるものと考えている。

来年度については、計画的な定数改善を行う方向で検討している。学級編制等、様々な課題についても検討しているので、概算要求までには何らかの考えをまとめたい。

祝！新規加入者

渡部 倫子さん（今市幼）

岡 美里さん（荒木幼）

魅力ある組織づくりが、新規加入者を増やしていくことにつながると考え、日々努力しているところ。会員の皆様、隣の方への声かけからお願いいたします。

